

<別記様式第9号 実績報告書 別添1 記載ガイドv3>

- 本資料は、「別記様式第9号 実績報告書 別添1」の記載ガイドです。以降のページの赤枠内に記載している内容を一読いただき、実績報告書作成時の参考としてください。
  - 本ガイドはあくまで参考資料のため、報告内容のまとめ方は各事業者様の取組内容やとりまとめ方針に合わせて記載いただいて構いません（一方で、様式自体の項目の改造は認められていません）。
  - 実績報告書の作成時は、**第三者が読んで理解しやすいように意識し**、図解や数値の一覧化、根拠資料の所在の提示など、より具体性を持った記述をなされるようお願いいたします。
- ※本ガイドに則って実績報告書を作成したとしても、本事業の完了検査合格を確約するものではありません。その他の提出様式や証憑類と合わせて総合的に検査をいたします。

## 1 活動内容

当該事業により取り組んだ活動内容を記載するとともに、翌年度以降、事業効果の発現に向けた取組について記載してください。

産地連携の様子、機器設置前後、商品開発の写真などを添付し、具体的な内容がわかるように記載してください。

### ■本事業に取り組んだ経緯

先に提出をされている、別記様式第2号\_別添1事業計画書『1 事業概要』内の『事業の目的』に記載した、本活動を行う理由や背景の要約及び取組内容を、事業の対象原材料を含めて簡潔に記載してください。

- ・ 自社事業と、外部環境変化による影響（対象原材料高騰の状況、要因など）
- ・ 本事業の取組における狙い
- ・ 事業計画時点に比べて事業の内容に変更が発生している事業者様は、その内容も記載ください。

### <記載例>

#### ■本事業に取り組んだ背景

弊社は、めん類製造業として業務用生めんの製造を行っており、『**輸入小麦**』を使用した商品を多く扱っているが、近年、輸入食料の高騰や供給不安、国際的な食料需要の増加や為替変動、台風などの自然災害による輸入困難などで調達リスクが顕在化しており、**輸送コストを含め当社の経営に影響を及ぼしている。**

[↑<Point>>簡潔な自社の事業紹介と、使用原材料の高騰に伴う問題の提示](#)

そこで、まずは当社の主力商品である『**業務用ラーメン用・生麺**』の原材料を輸入小麦から国産小麦への切り替え・開発を行い**調達リスクへの対策を行うこととした**

国産小麦を使用した『**業務用ラーメン用・生麺(国産)**』は輸入小麦のものに比べて麺の艶や歯応え・香りが良く、また**調達先が国内であることから栽培・生育状況について直接現地確認も可能**なため、売り先に対して製品の**安心・安全をPRする上でも好材料**であると捉え、付加価値として価格転嫁も見込めると判断した。

[↑<Point>>原材料切替による商品変更・開発、商品名の明示、取組の紹介およびメリットを記載](#)

一方で、現状の生産設備では以下の問題が発生している。

- ① 輸入小麦に比べ、こねる際のべたつきが悪影響して現在使用の麺練り機では、練った麺のタネが機械にこびついて、**原材料ロスと作業効率の低下を招いている**
- ② 同様に、製麺機についても現状のものではカットに不具合が生じることが多く、**麺の風味や触感を損ねてしまう傾向にある。**

よって、原材料の国産小麦への切り替えに伴い、国産小麦を用いた麺の製造に特化した生産設備を導入して上記の問題を解消し、安定した製造ラインの構築による製品クオリティの向上を図り、より高品質・高付加価値の製品を市場供給することで、弊社事業の安定化を図ることを目的とした。

[↑<Point>>原材料切替に伴う設備導入の必要性、導入による自社目標の提示](#)

## ■取組事項の要約

実際の取組事項を整理し、**第三者目線で伝わることを念頭に詳細に記載**してください。本項目を記載する際、以下の視点から情報を整理して要点をまとめ、図解や画像を活用し、適宜記号や色や書式などを工夫して視覚的見やすさも意識し、**第三者目線に明確に伝わる報告書**となるよう配慮をお願いいたします。（事業者様への精算作業をスムーズに進めるため、何卒ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます）

また、**交付決定を受けた事業計画から差異・変更がある場合、事務局に事前に相談の上、報告書の該当箇所に「交付決定時からの変更点と理由」を明記**してください。

### ① いつ

事業推進において特に重要なイベントについて、いつ行ったか。  
(設備毎のより詳細なスケジュールは『3 実施スケジュール』の項で時系列順に記載すること)

↓ (記載例) ↓

#### ◆本事業実施スケジュール

- ・2024年09月 交付決定を受け事業着手
- ・2024年12月 機材導入 (完了)
- ・2025年01月 支払い (完了)
- ・2025年01月末 事業完了 (報告書の提出)

交付決定を受けた事業計画から差異・変更がある場合、事務局に事前に相談の上、報告書の該当箇所に「交付決定時からの変更点と理由」を明記してください。

### ② どこで、どこに

業実施場所および設置個所の明示 (設備・ライン図面なども活用すること)

※ライン図面を報告書に入れられない場合は別資料とし、その際、**確認すべきファイル名を明記、ファイルの所在を明確に**すること。

↓ (記載例) ↓

#### ◆事業実施場所

〇〇県△△市××区〇〇町〇-〇 (本社工場)

同工場内・製造ラインにおいて本設備を導入した。

工場内の設置場所詳細については以下の図面を参考にご確認ください

ライン図面

ライン図面には設備名称・番号を割当てし、**後述の導入設備一覧と紐づける**ことでより簡易に判別できるようにする。

※導入設備が多いなどの理由で報告書にライン図面を盛り込めない場合↓

工場内設置場所詳細につきましては別途『〇〇工場・製造設備ライン図.pdf』を参照ください。

### ③ 何を導入したか

導入設備・サービス名を一覧化して記載。その際、**設備・サービス名称・発注先を記載**。また**番号を振る際は支払経費一覧・経証憑理類・上述のライン図面を含め整合性が取れるよう統一し**、金額と設備の照合を本書式で容易に確認できるよう工夫する

↓ (記載例) ↓

#### ◆導入設備

| 機械番号<br>(支払い経費一覧No) | 機械名(型番)/発注社名・請求書No                |
|---------------------|-----------------------------------|
| 1                   | 麺練り機(Y S-114514) / 株式会社×× / 請求書1j |
| 2                   | 製麺機(B F-109) / 株式会社×× / 請求書1j     |

交付決定を受けた事業計画から差異・変更がある場合、事務局に事前に相談の上、報告書の該当箇所「交付決定時からの変更点と理由」を明記してください。

### ④ 何のために

何を目的として当該の設備を導入し、どのような成果を狙ったのか。

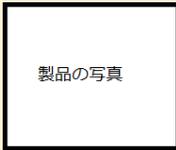
↓ (記載例) ↓

- ① 国産小麦に最適化した製麺ラインを導入し、**原材料ロスと作業効率の低下を解消**
- ② 安定した『業務用ラーメン用・生麺(国産)』の生産体制を確立し、**積極的な市場投入を図ることで、国産小麦取扱量の増加を狙う**

### ⑤ どのように

導入した設備・サービスを、どのように使用・実施したか。一連の製造工程・サービス実施内容を説明するにあたり、文章だけではなく図表・図解などを用いるなどして簡潔かつ明快な表記となるよう工夫する

↓ (記載例) ↓ 導入設備一覧

|    | 導入前                                | 導入後                         |   |
|----|------------------------------------|-----------------------------|---|
| 工程 | 課題                                 | 効果                          | 導入機器の写真   |
| 生地 | 国産小麦を用いる場合こびりつきが生じ、作業効率低下・原材料ロス発生  | スムーズに作成可能となり作業時間短縮・原材料ロス率低下 |  |
| 製麺 | 国産小麦を用いたタネをカットする際に不具合が出やすく原材料ロス発生、 | 均一な製麺を実現。原材料ロス率低下           |  |

■取組前後の比較写真（例）

取組前後の写真（導入した設備写真、作業風景も交えてもしくは別個に、新商品の写真・パッケージなど）を掲載してください。

**資産管理用のシールを設備に貼り付けた状態の写真も必ず掲載**ください。

取組事項や導入設備が複数ある場合は、どの写真が何を表しているかわかりやすいように表示や記載をしていただけますようお願いいたします。

↓（記載例） ↓製麺ライン設備の導入写真

| 機械番号1-麺練り機   |          |
|--------------|----------|
| 設備導入前の写真     | 設備導入後の写真 |
| 写真添付         | 写真添付     |
| シール貼付け部の写真添付 |          |
| 写真添付         |          |

| 機械番号2-製麺機    |          |
|--------------|----------|
| 設備導入前の写真     | 設備導入後の写真 |
| 写真添付         | 写真添付     |
| シール貼付け部の写真添付 |          |
| 写真添付         |          |

例) 製麺ライン設備によって製造した新商品の写真

| 新商品：『業務用ラーメン用・生麺(国産)』 |        |
|-----------------------|--------|
| 製品製造時の写真              | 新商品の写真 |
| 写真添付                  | 写真添付   |

※上記は記載例です、御社の実施内容に合わせて記載してください。

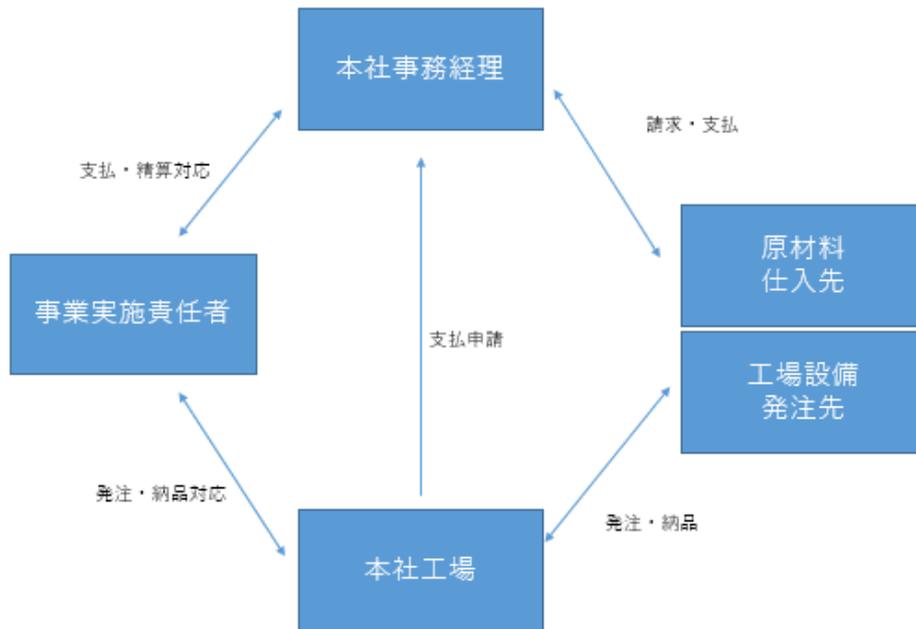
※交付決定を受けた事業計画から差異・変更がある場合、事務局に事前に相談の上、報告書の該当箇所に「交付決定時からの変更点と理由」を明記してください。

## 2 実施体制

事業実施体制を図示してください。連携、委託を行った団体がある場合はその名称、概要及び事務処理体系についても記載してください。

事業計画書に記載した実施体制と同様のイメージで、図などを用いて記載ください。

↓ (記載例) ↓



| 役割             | 担当者名  | 役職    | 実績・ノウハウ等   |
|----------------|-------|-------|--|
| 統括責任者          | 〇〇 ×× | 代表取締役 | 先代から承継した当社にて15年。会社組織運営、麵づくりの技術と、販売のマーケティングに高いノウハウを持つ。          |
| 生産（調達）担当       | ×× ×× | 本社工場長 | 生産部門の班長。25年超の勤続年数があり麵づくりの製造ノウハウは当社随一。生産部門の運営及び管理を担当            |
| 経理・補助金<br>実務担当 | △△ 〇〇 | 経理主任  | ・当社事務・経理部門リーダー。10年以上の事務業務経験があり、的確な事務処理が可能。補助金実務対応についても十分に対応可能。 |

※交付決定を受けた事業計画から差異・変更がある場合、事務局に事前に相談の上、報告書の該当箇所に「交付決定時からの変更点と理由」を明記してください。

### 3 実施スケジュール

実施した内容ごとに記載してください。

以下のように表の形式にするなど、読みやすいようにまとめてください。

導入設備・サービスが複数ある場合、設備・サービス毎にスケジュール表を一覧化し、簡潔にまとめてください（発注先が同一、または発注先の異なる設備でもスケジュールが同一の場合は纏めて記入も可）

↓（記載例）↓

| 機械番号1-麺練り機 |           |
|------------|-----------|
| 実施年月日      | 実施内容      |
| 令和〇年〇月〇日   | 見積もり      |
| 令和〇年〇月〇日   | 発注        |
| 令和〇年〇月〇日   | 設置工事      |
| 令和〇年〇月〇日   | 試運転       |
| 令和〇年〇月〇日   | 稼働開始、生産開始 |
| 令和〇年〇月〇日   | 支払い       |
| 令和〇年〇月〇日   | 成果の検証の実施  |
| 令和〇年〇月〇日   | 実績報告の作成   |

| 機械番号2-製麺機 |           |
|-----------|-----------|
| 実施年月日     | 実施内容      |
| 令和〇年〇月〇日  | 見積もり      |
| 令和〇年〇月〇日  | 発注        |
| 令和〇年〇月〇日  | 設置工事      |
| 令和〇年〇月〇日  | 試運転       |
| 令和〇年〇月〇日  | 稼働開始、生産開始 |
| 令和〇年〇月〇日  | 支払い       |
| 令和〇年〇月〇日  | 成果の検証の実施  |
| 令和〇年〇月〇日  | 実績報告の作成   |

| 新商品：『業務用ラーメン用・生麺(国産)』 |         |
|-----------------------|---------|
| 実施年月日                 | 実施内容    |
| 令和〇年〇月〇日              | 開発計画作成  |
| 令和〇年〇月〇日              | 試作、評価   |
| 令和〇年〇月〇日              | 商品規格書作成 |

※上記は記載例です、御社の実施内容に合わせ記載してください。

※交付決定を受けた事業計画から差異・変更がある場合、事務局に事前に相談の上、報告書の該当箇所に「交付決定時からの変更点と理由」を明記してください。

#### 4 事業の成果目標と成果

・事業計画書に記載の定量的、定性的な目標に対しての成果とその分析・検証方法（確認書類等）と波及効果を、事業実施前後の比較を交えて記載ください。あわせて、別記様式第2号別添5・6にも事業実施後の実績をご記入ください。

・取組A 産地の連携強化について。産地との連携強化等、事業実施の結果どのようなようになったのか記載してください。

・取組A、Bの両方や同じ取組で複数の原材料（取組Aで小麦・大豆等）等を同時に採択・実施した場合は、それぞれの取組について、目標等に対する成果を、それぞれ区別して記載ください。

・その他、取組の指標となる事項（新商品の販売量、プロモーションの効果等）の成果も記載してください。

##### ■事業成果の検証や、成果目標と実績の比較

事業計画書に記載した取組内容及び成果目標に対して、取組ごとに、検証の実施内容や結果（実績）を記載してください。数値については、その計算の考え方、計算式も記載ください。

検証方法や結果は、以下の視点で情報を整理し、第三者視点で客観的かつ明確に内容が読み取れるよう工夫をお願いいたします。

なお、交付決定を受けた事業計画から差異・変更がある場合、事務局に事前に相談の上、報告書の該当箇所に「交付決定時からの変更点と理由」を明記してください

##### ・取組区分

AかBかを記入

##### ・いつ

検証時期、検証期間を取組前後に分けて記入。

**※原則取組前後の同一期間とし、数値比較の前提を整えること。**

同一期間での算出が困難な場合は、取組前の集計期間を取組後の検証期間に換算して比較すること。

例) 取組前1ヶ月、取組後2週間で検証したの場合は、取組前を2週間のデータに換算して比較する。

・何のために：何の数値を検証するのか。

・どうやった：どのような条件や方法で検証を実施したか。

・どうなった：目標に対して、検証後の数値はどうなったか（計算式、算出根拠含む）。

別記様式第2号別添5・6に記載した内容や数値を、こちらの様式第9号別添1にも計算式、算出根拠を記載。また根拠資料（原材料投入管理表・生産日報など）など、**確認すべきファイル名を明記、ファイルの所在を明確にすること。**

↓<記載例>↓

■効果検証期間

機器導入前：2024年11月28日～2024年12月28日

機器導入後：2025年1月6日～2024年2月6日

■生産ラインへの設備導入により、以下の2点の達成できたか、実際に一定量の原材料を使用し、上記期間、機器導入前後で表のとおり数値検証いたしました。

- ① 国産小麦に最適化した製麺ラインを導入し、安定した『業務用ラーメン用・生麺(国産)』の生産体制を確立し、**国産小麦取扱量の増加を狙う**

下図表に①の検証結果を纏めました。

| 製品名                   | 業務用ラーメン用・生麺(国産) |         |
|-----------------------|-----------------|---------|
|                       | 機器導入前           | 機器導入後   |
| 生産数(個/日)              | 46,800          | 57,600  |
| 対象原材料使用量 (KG)<br>(/日) | (輸入) 46         | (国産) 57 |

上記数値算出の根拠資料として下記の資料を提出いたします

- ・「生産日報①R6.11～R6.12.PDF」
- ・「生産日報②R7.01～R7.02.PDF」
- ・「原材料管理表.PDF」

※上記は記載例です、御社の実施内容に合わせて記載してください。

※交付決定を受けた事業計画から差異・変更がある場合、事務局に事前に相談の上、報告書の該当箇所に「交付決定時からの変更点と理由」を明記してください。

## 5 評価及び要因分析

成果目標の達成状況を評価し、目標を達成していない場合は、その要因と課題を詳細に分析してください。

『4 事業の成果目標と成果』でまとめた検証結果数値や目標の達成状況について、

- ・ **特に、目標が未達だった場合はその要因や今後解決すべき課題を考察して記載**してください。
- ・ 目標達成・未達に関わらず、実施規定に基づき**本事業期間終了以降も継続的に効果検証することが必須となります**。今後将来的にどのように検証を行っていくか、見通しを記載ください。

### まとめ方の例

① 国産小麦に最適化した製麺ラインを導入し、安定した『業務用ラーメン用・生麺(国産)』の生産体制を確立し、**国産小麦取扱量の増加を狙う**

- ・ 目標に対して達成状況の評価：\*\*\*\*
- ・ 要因分析と今後の課題：\*\*\*\*
- ・ 課題に対しての取組方針：\*\*\*\*
- ・ 今後の効果検証方法・方針：\*\*\*\*

- ・ **使用原材料の安定的な確保について(別添6との整合性の確認)**

※**安定的な確保を証明する証跡として以下のような証憑を提出願います。**

- ・ **取引契約書や調達計画書等**

以下の内容について予めご理解いただき、**必ず実績報告時に以下の文言を報告**してください。

- ・ 本補助金によって導入した設備や物品は、**事業計画書上の目的外に使用しない旨**
- ・ 本事業により直接的な収益が発生していない場合は、その旨の報告と別記様式第11号収益状況報告書の提出が不要である旨

※上記は記載例です、御社の実施内容に合わせて記載してください。

※交付決定を受けた事業計画から差異・変更がある場合、事務局に事前に相談の上、報告書の該当箇所に「交付決定時からの変更点と理由」を明記してください。